

京都市生物多様性プラン（2021-2030） に掲げる施策の取組状況等

本日の次第

- 1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度 目標 1
- 2 京の生物多様性担い手宣言制度 目標 4
- 3 民間企業との連携 目標 1～4
- 4 その他事業
 - (1) 地域生きもの探偵団 目標 3
 - (2) 京の生きもの生息調査 目標 4
- 5 推進プロジェクト
 - (1) 「京都らしさ」を支える生物資源調査 目標 1～4

1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

(1) 団体

ア 概要と取組状況

京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のための取組を認定し、必要に応じて技術的な支援のための専門家を派遣している。

・ 28件を認定、236団体で取組（令和4年7月末時点）



武田薬品工業株式会社京都薬用植物園による
「オケラの保全及び五條天神宮節分祭への神朮の奉納」



京都市内のK E S 審査・登録事業所による
「ノハナショウブの生息域外保全」

1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

(2) 個人

ア 制度の拡充

今年度からは、より多くの方に取り組んでいただけるように個人も認定対象に

イ 概要

希少種（フタバアオイ、ヒオウギ、ノカンゾウ、イワギボウシ）の生息域外保全
文化を支える生物資源の持続可能な利用を促進



フタバアオイ



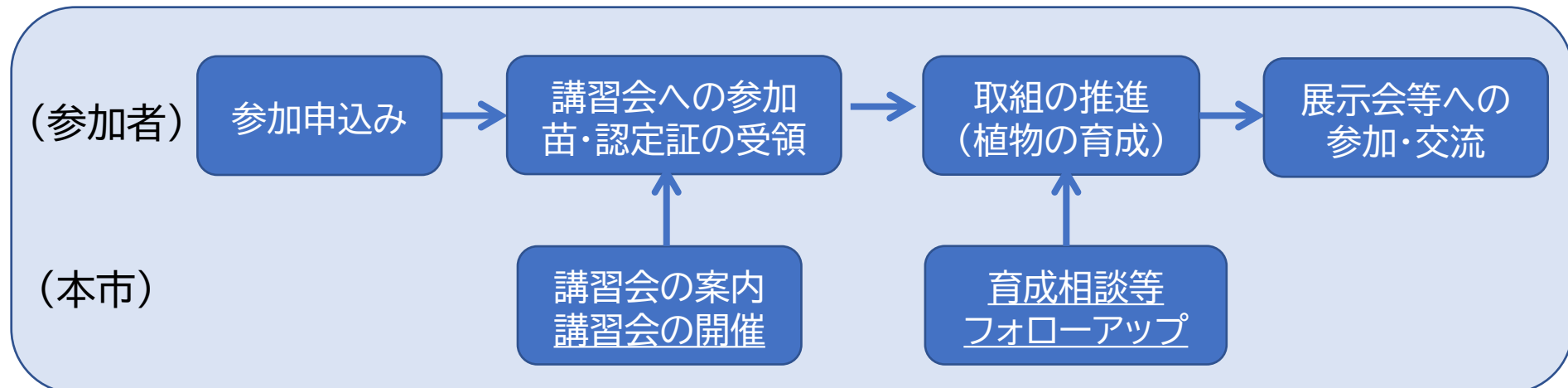
ヒオウギ



ノカンゾウ



イワギボウシ



1 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

(2) 個人

ウ 今年度の取組状況

- ・ 令和4年6月11日、19日に育成講習会を実施

- ・ **認定者数 計60名**

(フタバアオイ17名、ノカンゾウ9名、ヒオウギ17名、イワギボウシ17名)



エ 育成相談受付

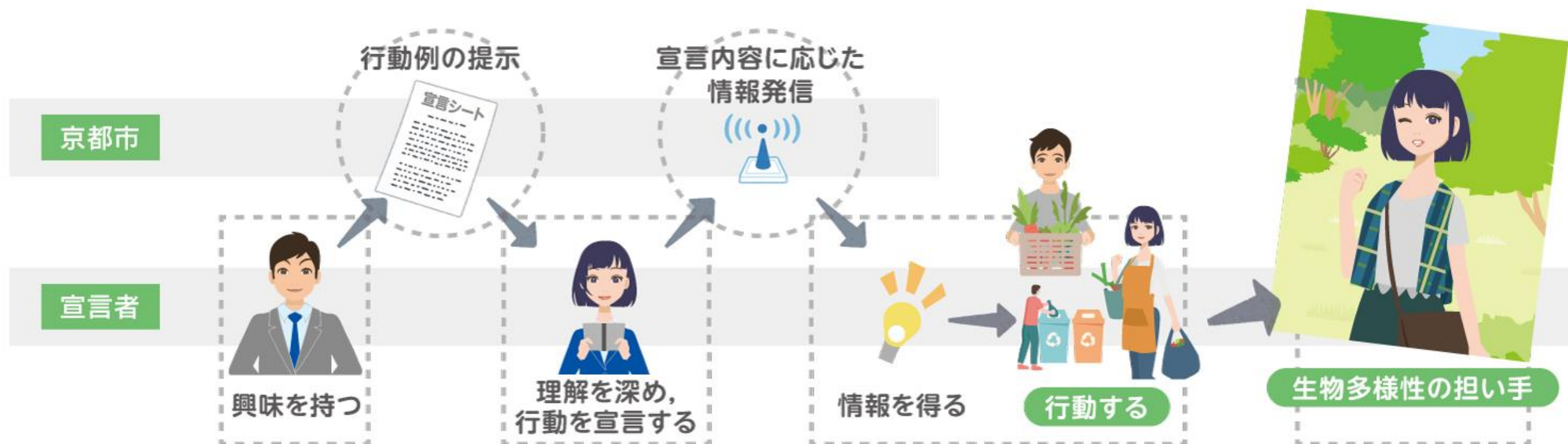
育成していただく際に「うまく育たない」、「肥料はどうすれば良いか」など問題や疑問が生じた場合など、育成全般に関する相談窓口を設け、育成に関する様々な問題をフォローアップ

2 京の生物多様性担い手宣言制度

(1) 制度の概要

生物多様性保全の担い手を増やすとともに、生物多様性に関する理解の促進や、行動に移していただく機会とするため、様々な主体が取り組める行動例を示し、できる取組を宣言してもらうとともに、宣言内容に応じた情報発信を行い、「担い手を必要としている主体」と「行動したい人」とのマッチングを図る。

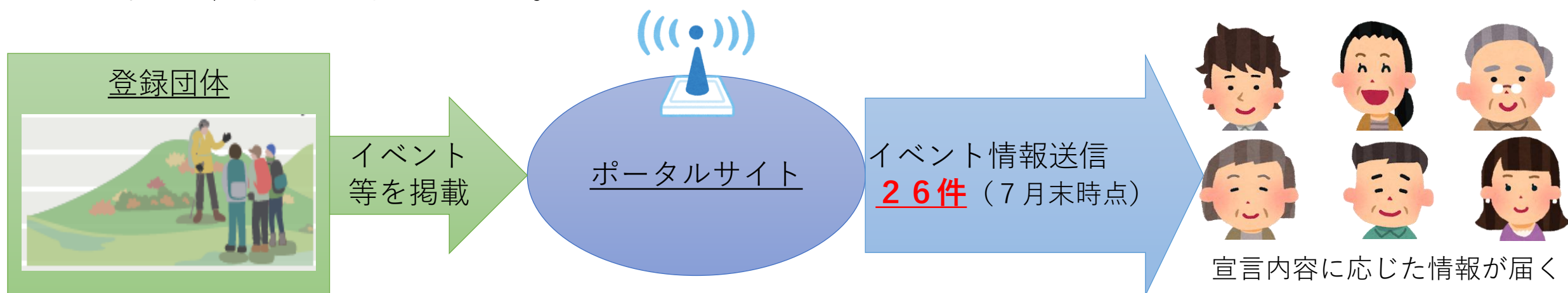
- ・ 宣言数 2,553件（7月末時点）（目標：令和7年度末までに5万件）



2 京の生物多様性担い手宣言制度

(2) 制度の運用

- 宣言者に対して宣言内容に応じたイベントや講座等の情報をメール等で随時提供し、行動を促進する。



- イベントや学校、事業者、活動団体等、あらゆるチャンネルを通じて宣言者の拡大に取り組む。

< 周知 >

- ・ 市民しんぶん 5月号
- ・ SNS
- ・ 学生向けアプリ「KYO-DENT」
- ・ 京都新聞（令和4年4月28日）
- ・ その他各種イベント



市民しんぶん令和4年5月1日号（抜粋）



KYO-DENT掲載ページ

3 民間企業との連携

(1) 武田薬品工業株式会社京都薬用植物園

市域における生物多様性保全の推進に関し、相互の連携を強化し、取組の促進を図るため、令和3年12月に締結した生物多様性保全に関する協定に基づき連携

<現在の連携状況>

- ①京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度における協力
- ②さすてな京都と連携した学習プログラムの実施
- ③小学校と連携した学習プログラムの実施
- ④活動団体（雲ヶ畑・足谷 人と自然の会）への支援
- ⑤京都市衛生環境研究所における生物多様性保全の取組との連携



①京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度に係る苗の育成



②さすてな京都と連携した学習プログラム「未来のサイエンティスト養成事業」の実施



④雲ヶ畑・足谷 人と自然の会の取組紹介

3 民間企業との連携

(2) 阪急電鉄株式会社（洛西高架下こども大学）

阪急電鉄と本市が共催する「洛西高架下こども大学～らくさいサンゴ礁ラボ～」において、生物多様性の保全及び持続可能な利用のためにできることを紹介

- ・ 令和4年8月6日、7日に実施
- ・ **参加者数 合計80名**



3 民間企業との連携

(3) ローム株式会社

ローム(株)と脱炭素社会の構築に向けた連携協定(脱炭素、生物多様性、地域のレジリエンスの向上などに関して)を令和4年6月に締結した。

主に、協定における連携事項の一つ「生物多様性に関すること」に関し、ローム(株)本社敷地内に整備した8,400㎡のビオトープエリアを利用して、地域社会とのコミュニケーションを強化するとともに、生態系保全の施策を推進する予定である。



4 その他事業（1）地域生きもの探偵団）

（1）概要

市内の小学校が授業で自然観察を実施する際に、専門家を派遣し、児童に多様な生きものたちのつながり等について解説する。

従前プランの計画期間である平成27年度から7年間で、約2,500名の児童に参加いただいている。

（2）今年度の取組状況

- ・ 15校で計30回実施する予定



4 その他事業（2）京の生きものの生息調査）

（1）概要

市民参加のもと、市内で見られる生きものの生息状況を把握するとともに、本市の緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を評価するために実施している。

今年度からは、「生きものを通して、四季の変化を感じていただく」ため、実施期間を通年とした。

（2）今年度の取組状況

- ・ 160件報告（令和4年7月末時点）



ツバメ



ハグロトンボ



セミ



ウグイス

各事業の関連

「森」「里」「街・川」「京都らしさ」において関連する取組を一体的に進め、相乗効果を図り、2030年度までの目標達成を目指す。

2030年度までの目標



- ・ 京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度
- ・ 京の生物多様性担い手宣言制度
- ・ ポータルサイト「京・生きものミュージアム」
- ・ 民間企業との連携
- ・ 活動交流会 など

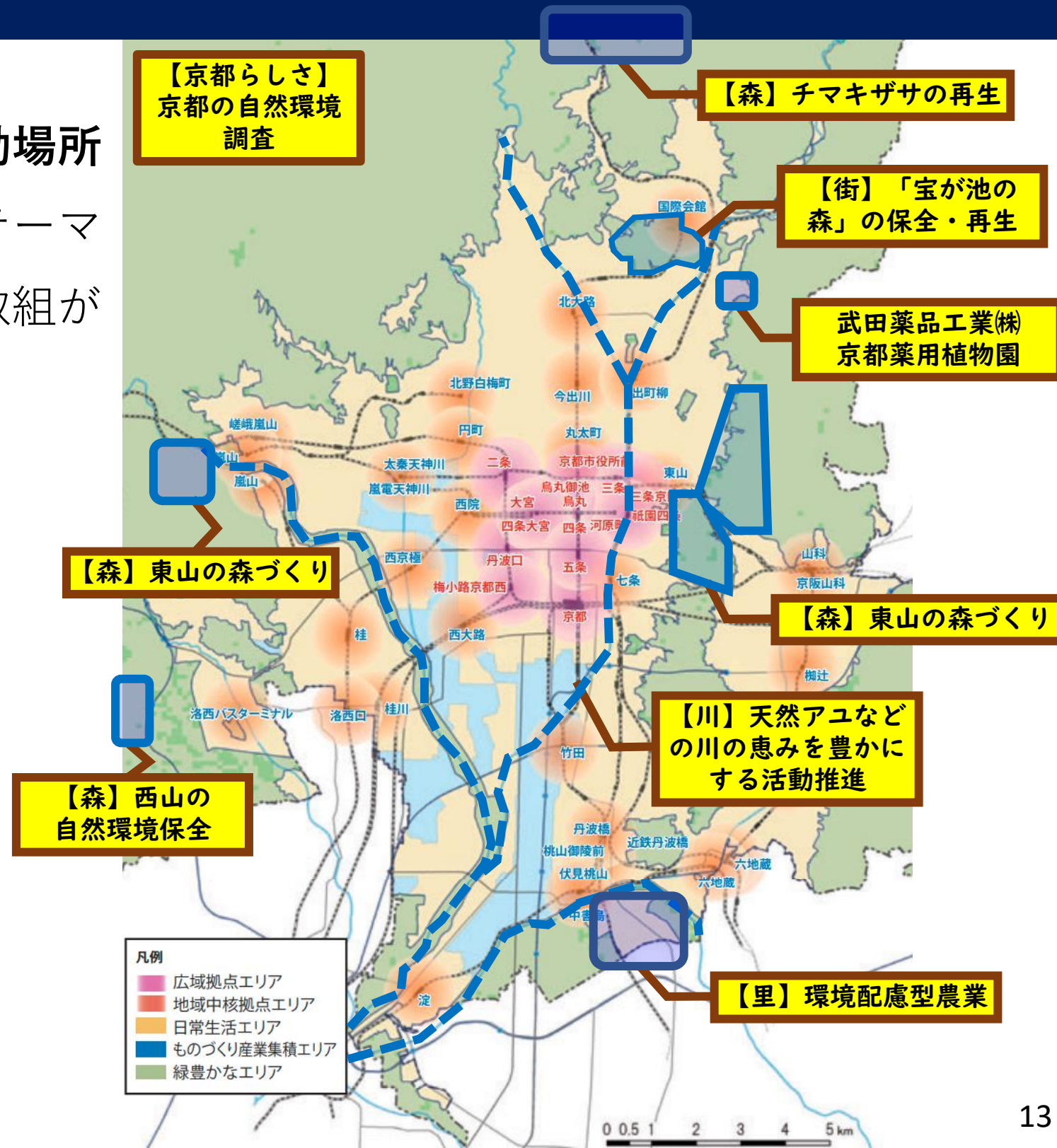
推進プロジェクト

各施策

5 推進プロジェクト

(1) 各推進プロジェクトの主な活動場所

「森」「里」「街・川」の各テーマについて、市内の多様な地域で取組が進められている。



5 推進プロジェクト

(2) 各推進プロジェクトの取組状況

ア チマキザサの再生

概要	「チマキザサ再生委員会」と協働し、絶滅の危機に瀕する花脊・別所地域のチマキザサ再生を推進する。
課題	・効果的な防鹿柵設置と次世代の担い手確保・技術継承支援 ・チマキザサの流通促進と普及啓発
取組	・チマキザサ再生事業の実施（ササ再生状況のモニタリング、再生加速のための移植試験、ササ生育環境管理、活動資金確保、人材・組織マネジメント及び次世代の担い手確保 など）



チマキザサ再生の取組

チマキザサ再生に関する最新情報

再生したチマキザサの採集・利用

令和3(2021)年、防鹿柵の中で再生してきたササが大きくなりました。待ちに待った採集です。採集されたチマキザサの葉は、厄除け粽に加工され、皆様の元へ届けられることでしょう。



花脊別所町産のチマキザサ（手前）と厄除け粽

担い手へのインタビュー

チマキザサの加工に携わる担い手の方にインタビューを行いました。日々の手仕事のやり方から、将来の担い手への期待など、コロナ禍においても変わらずひたむきに仕事を続ける様子が垣間見えました。



花脊別所町産の担い手の方々

【京都市公式】京都産チマキザサ再生の取組



つまり一斉前作の後に産が入って来たことで、すべて前作が加わってしまっている。

ポータルサイトでの掲載

5 推進プロジェクト

(3) 各推進プロジェクトの取組状況

イ 東山の森づくり



概要	「京都伝統文化の森推進協議会」と協働し、東山等において多様な動植物が見られる生物多様性豊かな森づくりを推進する。
課題	・ 多様な主体（企業等）の参画（資金の不足） ・ 生物多様性豊かな森づくり
取組	・ 多様な主体（企業等）の参画を促す手法の検討 ・ 生物多様性豊かな森づくりに向けた取組の検討（モニタリング等）

ウ 西山の自然環境保全

概要	小塩山及び大原野森林公園における保全活動団体と協働し、希少な動植物が生息する西山の自然環境保全を推進する。
課題	・ 多様な主体の参画（担い手及び資金の不足）
取組	・ 森林保全活動への参加促進

・・・（随時追加）

5 推進プロジェクト

(3) 各推進プロジェクトの取組状況

エ 「宝が池の森」の保全・再生・利活用

概要	「『宝が池の森』保全再生協議会」と協働し、宝が池とその周辺の森の保全・再生・利活用に取り組む。
課題	- 森づくりビジョンに基づく具体的な取組の検討 - 生きもののモニタリングや森林管理、持続可能な利用に向けた体制整備
取組	- 今後の行動計画、ロードマップ等の検討 - モニタリングや森林管理などの森づくりの実践



オ 天然アユなどの川の恵みを豊かにする活動推進

概要	「京の川の恵みを活かす会」等と協働し、アユ等が生息できる環境作りや持続可能な利用を推進する。
課題	多様な主体の参画（担い手及び資金の不足）
取組	ネットワークづくりによる多様な主体の参画促進



・・・（随時追加）

5 推進プロジェクト

(3) 各推進プロジェクトの取組状況

カ 環境保全型農業の推進



概要	環境に配慮した農産物の生産・消費を促進することで、生物多様性保全機能をはじめとした、多面的機能が発揮される持続可能な農業を推進する。
課題	【生産者】環境保全型農業におけるメリットの「見える化」 【消費者】エシカル消費の実践につながる環境づくりや情報発信
取組	・学校の参画による取組の促進

・・・(随時追加)



キ 「京都らしさ」を支える生物資源調査

概要	京都らしさ（伝統、文化、産業、景観等）を支える生物資源の現状等を把握し、保全・回復の取組を講じることで、生物資源の持続可能な利用を図る。
取組	「京都らしさ」を支える生物資源調査の実施

・・・(随時追加)

5 推進プロジェクト（1）「京都らしさ」を支える生物資源調査）

（1）調査の概要

「京都らしさ」を支える生物資源の現状を把握し、リスト化するとともに、保全・回復の取組につなげるため、持続可能性に関する課題を把握する調査を実施した。

ア 文献調査、ヒアリング調査及びアンケート調査

（ア）文献調査

構成要素や生物資源
の内容の充実

（イ）業界団体等へのヒアリング調査 （ウ）団体へのアンケート調査

入手困難な状況、
生物資源の調達先の把握

「京都らしさ」を
支える生物資源の
リストの充実

イ 生物資源の詳細な状況調査

（ア）詳細に調査する生物種の絞り込み

5つの選定基準に基づき絞り込み

（イ）詳細調査

持続可能性に関する
課題の詳細な状況把握

生物資源ごとに
カルテを作成

【選定基準】

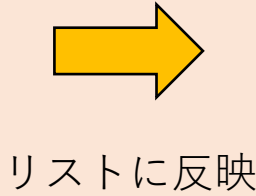
基準1	生物資源の保全又は利用による本市の生態系保全へのつながり
基準2	「京都らしさ」の構成要素としての重要度
基準3	文化等の継続・継承への重要度
基準4	絶滅等が危惧される種
基準5	生物資源の保全又は利用により得られる生態系サービスの市民への分かりやすさ

5 推進プロジェクト（1）「京都らしさ」を支える生物資源調査）

（2）調査の結果

ア 文献調査、ヒアリング調査及びアンケート調査

調査の種類	対象
文献調査	祭事・伝統行事、食、染織、工芸品、建築、造園、薫香、茶道、華道、伝統芸能、景観
ヒアリング調査	祭事・伝統行事、食、工芸品、建築、造園
アンケート調査	食、工芸品



「京都らしさ」を支える
生物資源のリスト
内容の充実（資料1-1）

リストに反映

イ 生物資源の詳細な状況調査

- 5つ選定基準を基に、特に重要と考えられる生物種を選定

生物資源	選定基準ごとの評価※					
	1	2	3	4	5	
			困難	やや困難		
竹	14	80	10	12		1
マツ	8	37	6	4		
イネ	4	22	2	2		16
タケノコ	1	7	2	0		3
マツタケ	2	8	2	0	○	2
アユ	2	8	2	0		2
クリ	4	16	2	0		1
クロモジ	2	8	2	0		
コバノミツバツツジ	2	8	2	0		
...	...	...	...	...	...	...
キキョウ	1	4	1	1	○	1
...	...	...	...	...	...	...



生物資源ごとにカルテを
作成（資料1-2）

詳細調査

※選定基準ごとの評価の考え方

基準	考え方
1	京都市産の生物資源
2	多くの構成要素において利用されている生物資源
3	調達が困難な生物資源
4	絶滅等が危惧される種
5	市民への分かりやすさとして「食」に関わる生物資源